

川上ダム通信

2011

9

月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

河川環境フェスティバル～自然とふれあい川の環境を学ぶ～

8月6日(土)、伊賀市阿保の木津川河川敷で「第11回河川環境フェスティバル」が開催されました。アユのつかみ取りなどが楽しめるこのイベントは、子供たちが川や魚といった自然とふれあう貴重な機会として毎年この時期に開かれており、川上ダム建設所も河川環境保全の大切さを啓発するブースを出展しています。

アユのつかみ取りには多くの子供たちが参加し、びしょ濡れになりながらも楽しそうにアユを追いかけていました。また、つかまえたアユはその場で塩焼きにして配られ、親子で舌鼓を打つ姿が見られました。

川上ダム建設所のブースでは、水道水や木津川の水を使って水質を比較する実験を体験していただきました。水の汚れを色で識別する実験に、子供たちは熱心に取り組んでいました。

【総務課 堀 雅智】



水質実験に挑戦していただきました

桐ヶ丘夏祭り～水やダムについて知っていただきました～



クイズに挑戦する子供たち

同じく8月6日(土)に「桐ヶ丘夏祭り」が桐ヶ丘団地内の公園で開催されました。川上ダム建設所もブースを出展しました。

お祭りが始まると、青山太鼓、沖縄エイサー、よさこい踊り、江州音頭など大勢の人で盛り上がっていきました。

川上ダム建設所のブースでは、約300名の親子が水の知識や川上ダムについてのクイズにチャレンジし、ブースの説明用パネルをヒントに解答を見つけながら、水の大切さやダムの

目的、オオサンショウウオの生態等について、楽しみながら学んでいただきました。

【第一用地課 安田直人】

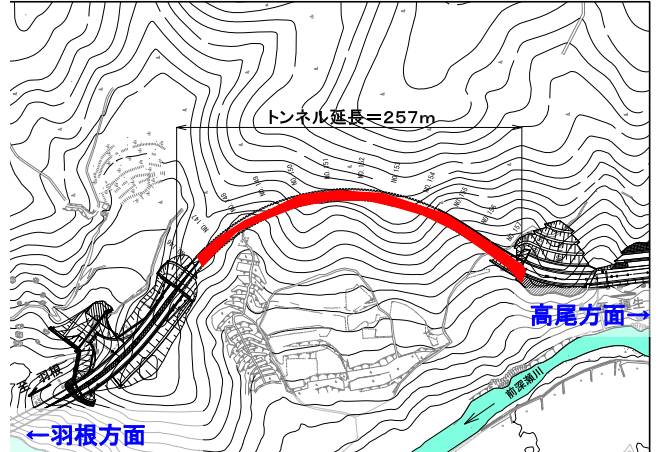
県道青山美杉線付替工事の状況

■ 青美線トンネル工事 ■

8月25日現在でトンネル延長257mのうち242mまで掘り進みました。現在、昼夜の作業により1日に約4mのペースで掘り進んでいます。このまま掘り進むと9月初め頃にトンネル掘削が完了し、トンネルの壁をコンクリートで覆う工事に進む予定です。



トンネル内の様子

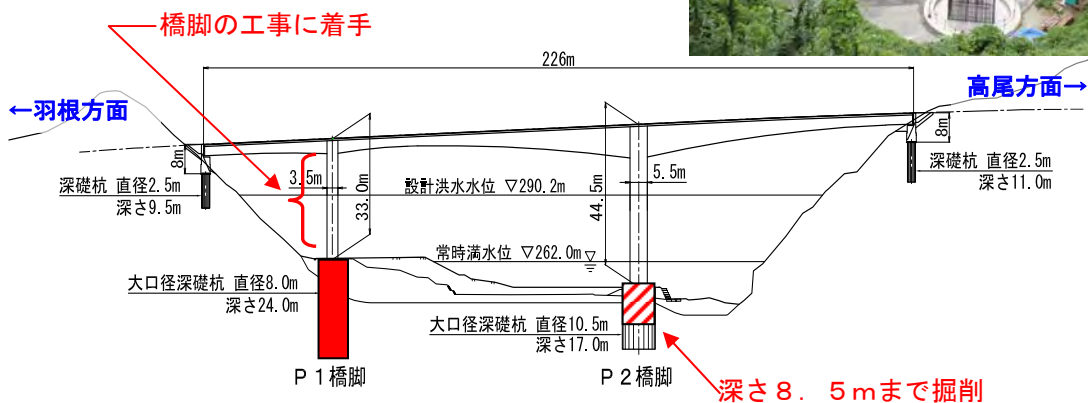


242mまで掘り進んでいます

■ 青美線貯水池横断橋工事 ■

P1橋脚基礎は8月12日にコンクリート打設を終了しました。現在は、地上部の橋脚を造るための鉄筋組立作業等を行っています。

P2橋脚基礎は、8月25日現在で深さ8.5mまで掘り進んでいます。



■ 青美線第2工区(その5)工事 ■

本工事は先月に引きつづき、工事用進入路の工事を実施しています。

これら3件の工事関係車両は、県道松阪青山線等を通行いたします。地域の皆様には、引き続き、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。



【工事課 森岡浩然】

進入路を施工しています

川上ダム事業説明会（川上区）

8月2日(火)、川上ダム建設所にて水没予定地から集団移転していただいた川上区の方々を対象にした川上ダム事業説明会と現場見学会を開催いたしました。

説明会では、当建設所の神矢所長から移転者の方々へ感謝の意を込めてご挨拶申し上げ、つづいて平成23年度の川上ダム建設事業の概要とともに、現在進めている付替県道青山美杉線の工事状況等についてご説明いたしました。

その後、事務所から場所を移し、付替県道青山美杉線のトンネル工事及び貯水池横断橋工事の見学会を実施し、工事の進捗について理解を深めていただきました。

今後も地元の皆様方のご意見などを頂戴しながら、事業実施に努めてまいりますので引き続きご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

【第一用地課長 山本正明】



挨拶する神矢所長



トンネル工事現場の見学

熱中症予防講習 & 交通安全研修

川上ダム建設所では、7月29日(金)に「職場における熱中症予防講習会」(講師 (株)大塚製薬名古屋支店津出張所 田辺所長)、「安全運転研修会」(講師 名張警察署 東口交通課長)を開催しました。

講習会と研修会の目的は、工事現場における熱中症の予防と工事車両や通勤車両の交通事故を防止することであり、当日は基礎知識や最近の傾向、事故防止策等について講習を受けました。

熱中症予防講習では「熱中症は体内の水分やナトリウム(塩分)が失われた場合に生じるもので、のどが渇いた状態は既に症状が出始めている状態である。水だけ飲んでも塩分は補給されないため症状は回復しない。水と塩分を同時に摂取することが必要。また、糖分も併せて摂取すれば回復を早めることを助ける。」と説明を受け、熱中症の予防について理解を深めました。

交通安全研修では、三重県内で発生している事故のうちの大半がスピード超過、酒酔い、シートベルト無着用、シルバー(高齢者の歩行・運転)によるものであると説明がありました。また、特に時間のゆとりがない時に事故が発生しやすく「ゆとりのある運転となるよう3分早めに家を出ることを薦めます」と説明がありました。わずか3分でスピード超過、脇見、見落とし、考え事がなくなり事故を防ぐことができます。この研修を活かして今後も安全運転に努めてまいります。



東口交通課長による講話

【工務課 鈴木弘二】

環境調査のご紹介⑤

植物モニタリング調査

人間が管理している田畑でも豊作や不作があるように、自然の植物もその年の日照時間や気温、降雨・風雪など気象条件の影響を受けて生育状況が変化します。このようなことから、植物の保全対策にあたっては、植物に現れる変化が自然現象によるものか工事による影響かどうか、毎年観察を行いデータを蓄積して見極めることが必要です。また、工事に伴って移植した植物が順調に生育しているのかも複数年かけて調査を行います。このように、植物の変化を観察し記録する調査を「モニタリング調査」といいます。



草地での調査状況



林内での調査状況

川上ダム建設事業においては環境保全上重要な植物種を選定し、ダム事業がこれら重要な植物に与える影響や保全対策の効果を確かめるためモニタリング調査を行っています。調査では、重要な植物種の花や実の付き方や株の数などの生育状況や、土壌の状態や他の植物の繁茂状況など生育環境の変化を記録しています。

調査で得られたデータは、移植先の検討など植物の保全対策に活用しています。

【環境課 笹原智弘】

イベントのお知らせ

三重県総合防災訓練

今年度の三重県総合防災訓練は、三重県、伊賀市、名張市の合同で開催されます。

会場では、初期消火訓練、水防訓練、救助・救出訓練、炊き出し訓練などが行われます。また、地震体験車による震度体験や防災機器の展示もあり、どなたでも見学できます。

【日時】 9月4日（日）

午前9時～午後12時30分

【場所】 名張会場 名張中央公園 夏見 2812

伊賀会場 阿山運動公園 川合 3376-1

【お問い合わせ先】

三重県防災危機管理部防災対策室

TEL：059-224-2189

伊賀市総合危機管理室

TEL：0595-22-9640

名張市危機管理室

TEL：0595-63-7271

編集後記

9月も間近になりましたが、まだまだ残暑が続いています。今夏は全国的に大幅な節電を求められており、暑くてもエアコンの使用をためらってしまいますが、熱中症等で倒れてしまっは大変です。節電も大事ですが、どうしても暑い時はエアコンや扇風機によって室内温度を調節して、お体には十分気をつけてお過ごし下さい。

〔広報誌発行事務局〕

編集長 神矢（所長）
デスク 吉岡（総務課長）
" 足達（工務課長）
編集 金山（調査設計課）
記者 堀（総務課）
松高（第二用地課）
森岡（工事課）



ISO14001: 2004

JQA-EM576m

☆☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。
ハガキやメール等でどしどしお寄せください。☆☆☆
◇川上ダム建設所は ISO14001 を取得し、環境保全を推進しています。◇